

福井市内49地区社協と市社協をつなぐ情報紙

むすんで ひらいて

第47号
発行日
令和3年3月

発行：福井市地区社協連絡協議会
〒910-0018 福井市田原1丁目13-6 フェニックス・プラザ1階
(社会福祉法人 福井市社会福祉協議会内)
TEL 0776-26-1853 FAX 0776-26-9109

◆福井市社協のホームページからバック
ナンバーをご覧いただけます



コロナ禍でも「つながり」を絶やさない



コロナの収束を願いデイホームの利用者とスタッフが制作した折り鶴飾り(東公民館にて)

ポイント1

無理なく、
できることから

自治会型デイホームや食事サービス等の活動が十分にできる状況にない中で、日常的な見守りは、これまでの活動を補うのに有効な方法となります。日常的な見守りは、生活の中にあり、感染予防に気を付けながら、無理なくできる範囲で続けていくことが大切です。

ポイント2

“つながり”を
絶やさない方法で

気にかかる高齢者宅へ健康情報、脳トレ等の「おうちでデイホームセット」やまごころのこもったメッセージカードの配布、電話での安否確認等が行われています。その他、道で会ったときにこれまで以上に高齢者のことを気遣ったりしながら“つながり”を保っています。



令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、人との接触を避けるため、地域での活動に制限がかかった1年になりました。その中でも、各地区の社会福祉協議会では役員の皆様の創意工夫により、つながりを絶やさない取り組みを続けてこられました。

そこで今号では、こうした取り組みを広げるため、コロナ禍でもつながりを絶やさない取り組みのポイントと取り組み事例を紹介します。

(次ページに各地区での事例を紹介します)